

寒高冷地の畦畔管理の省力化に役立つ

「畦畔等管理省力化モデル事業」について

皆さんは、田畑の境にあるあぜのり面など「畦畔」の管理に苦労されてはいないでしょうか。傾斜が多い畦畔は、草刈り作業で管理することがほとんどで、その作業は大変重労働であり、危険も伴います。

そこで、町では畦畔等の管理の省力化かつ低コスト化を図る「畦畔等管理省力化モデル事業」を実施しております。今回の特集は、この事業を詳しくご紹介します。

葉や茎が柔らかくしな垂れるので、適度な草丈を維持でき、年数がたつと地面をほう茎が堆積してマットを形成し、雑草種子の発芽を防ぎます。長靴のゴム底でも滑りにくいというメリットもあり、定着すると数年間、畦畔管理の省力化に役立つと注目されています。

◆畦畔等管理省力化モデル事業とは

只見町は、中山間地域であるため畦畔等のり面が広い

ほ場が多く、管理作業に多くの労力や経費がかかる他、危険を伴う作業のため、省力化や低コスト化が望まれています。またその管理が困難になり、適切な農地管理ができず耕作放棄につながることも懸念されます。そこで、その管理を将来的に

低コストで省力化する方法として、「芝」で畦畔等を覆う方法を推奨し、そのモデルとなる取組みに対して補助金を交付する事業を行っています。

◆畦畔を覆う「芝」ベントグラスの特徴

芝草の一種であるベントグラスの中でも「畦畔グリーン」は、耐寒性が高く中山間地でも容易に越冬できるもので、他の豪雪地帯でも導入されています。

◆事業の概要について

◆交付対象者

集落又は農業者組織

◆交付対象箇所

畦畔、畦畔のり面、農作業道のり面、水路のり面

◆交付対象経費

畦畔等管理の省力化に寄与する資材の購入費用

(例)芝種子(畦畔グリーン)、肥料、除草剤等

みどりの芝で作業を軽減

生産者のためにできることを！

▲水田の畦畔に播種(はしゅ)した楯戸地区





▲畑の畦畔に播種した大倉地区



▲水田の畦畔に播種した蒲生地区



▲土壌表層を畦畔グリーンで覆います

《平成28年度実施地区》

- ◆只見地区／蒲生、入叶津
- ◆朝日地区／楢戸、黒谷、黒谷入、亀岡
- ◆明和地区／大倉、小林

合計／8ヶ所

利用者の声



多面的機能支払
蒲生集落保全会
会長 馬場新介さん

本集落は農業の高齢化が進む中、農作業の軽減を図ろうと考えて本事業に取り組みました。関係者の指導のもと、播種した種がほとんど芽を出し、急傾斜も緑一色となり、現地を見れば心も洗われます。この事業が本町に定着すれば大きく農作業の軽減が図られます。しかし、現時点での事業経費は高く、事業普及に向けては多少課題もあるようです。



中山間地域等直接支払
楢戸集落協定
代表 横山治夫さん

種蒔きは手作業で出来ると聞いていましたが、楢戸では動力噴霧器を使って播種し、エンジンを最低にして、開口を2程度にすることで平らに蒔くことができました。台風等で種が流される場合があるので、必要に応じて種の蒔き直しと観察が重要になります。秋の段階である程度、芝の密度が高くなったので、今後の畦畔管理の省力化に繋がることを期待しています。

《畦畔グリーンの導入法》

- ◆播種時期／8月下旬～9月中旬
- ◆播種量／標準20g/m²(条件が悪い場合は増やす)
- ◆施肥管理／基肥(播種時の施肥)：窒素-リン酸-カリ＝各5g/m²(成分量)
追肥：「畦畔グリーン」の生育状況(葉の色が薄い、伸びが悪い等)を見て、適宜散布するようにします。
- ◆施工前の留意点
既存の畦畔の雑草はグリホサート剤(ラウンドアップ等)で除草処理します。
- ◆播種後の管理
「畦畔グリーン」の密度が高まる前に雑草の発生が確認された場合、手取り除草や除草剤のスポット処理等で枯殺します。
- ◆施工方法
「実播法」(種子を直接播種する方法)の他に「わら芝工法」「吹付工法」があります

- ◆補助率及び限度額
 - ・補助率／費用の100%以内
 - ・限度額／10万円
 - ※1組織1回限りとし、他補助事業との併用は不可
- ◆申請について
 - 各集落や組織で要望を取りまとめ、次の書類を農林振興課まで提出して下さい。
 - ①申請書
 - ②要望箇所の見積もり
 - ③要望箇所の位置図
- ◆お問合せ先
 - 只見町農林振興課農政係
 - ☎0241(82)5230

今年度より始まったこの事業は、農地の維持管理省力化及び保全管理を行い、耕作放棄地の減少につながると考えております。各集落・組織の積極的な申請をお待ちしております。



農林振興課
農政係
新国 透

《担当者よりメッセージ》